

第 2 回 食品安全文化の可視化に関する研究会

開会～閉会 議事概要

日時：2025 年 9 月 10 日（水）

場所：中央合同庁舎第 4 号館／オンライン（Teams）

次第

1. 開会（進め方・接続案内）
2. 情報共有（第 1 期の振り返り／第 2 期の目的・体制）
3. 意見交換（分科会：ブラッシュアップ／ガイダンス → 全体共有・普及方策）
4. 閉会（事務連絡）

開会（進め方・接続案内）

- ・ ハイフレックス方式で実施。会場・オンラインの双方で参加。
- ・ 進行：全体説明 → 分科会（ブラッシュアップ／ガイダンスの 2 チーム）→ 再集合して全体共有・普及方策の意見交換。
- ・ Teams 運用：ブラッシュアップは現行 URL を継続利用、ガイダンスは別 URL へ移動。再集合時は元 URL に戻る。
- ・ 想定タイムライン：分科会は～15:30 を目安。その後、全体共有・事務連絡。

情報共有

第 1 期の振り返りと成果物の現状

- ・ 中小企業でも使える「無料の可視化ツール」の整備を進め、評価項目の整理（37 項目）、平易表現化・多言語化（7 言語）を実施。
- ・ Excel 版評価ツールを策定。Forms 貼付で自動集計（役割階層・部門別比較、反転設問、色分け、レーダー等）。
- ・ 実施企業でのフィードバックと学術解析を実施し、探索的因子分析の結果から **5 因子構成**が妥当との示唆。**37→25 項目**の圧縮案が提示済み。

第 2 期（本年度）の目的と体制

- ・ 目的：①ツールの**スリム化**とロジック修正、②**多言語更新**、③**使い方ガイダンス整備**（実施前・実施後・アクションガイダンス）。
- ・ 進め方：**ブラッシュアップチーム**（ツール・項目・命名の見直し）と**ガイダンスチーム**（実施前/後・アクションの手引き整備）の 2 チームで推進。
- ・ 補足：Excel の論理不具合は修正完了の報告あり。多言語反映は項目確定後に順次実装。

解析・規格動向の共有

- ・ 項目圧縮は相関係数の**しきい値 0.45**を参考に候補抽出。ただし、統計値だけでなく**実務的**

有用性（現場改善に効くか）を加味して再精査。

- 規格・ガイドスの外部動向（例：GFSI 枠組みのアップデート見込み）にも留意しつつ、**名称・枠組みは実態ベース**で再設計。

ガイドンsteam：論点と合意

- 見直し対象**：サイト掲載の「**実施前ガイドス**」「**実施後ガイドス**」「**評価シート**」。
- 新設**：「**実施後のアクションガイドス**（改善計画へつなぐ手引き）」を追加。
- 評価結果の読み方**：
 - 階層別・側面別の可視化**（棒グラフやスコア分布等）を整備。レーダーは代替/併用を検討。
 - ドラフトを次回提示**。実務側（実証協力企業等）からのレビュー依頼を予定。

全体共有・普及方策

- 普及チャネル**：展示会・外部イベント・ウェビナーの共同開催、ニュースレター／メールマガジン、関係団体の媒体（例：FCP 通信）での周知、**審査・認証実務者経由**の現場波及。
- 利用申請**：FCP への**届出（無償・提出のみ）**で運用。負担軽減のため様式の簡素化を検討。
- クレジット・ロゴ**：発表・掲載時の**定型クレジット文とロゴ／表記ルール**を整備し、サイトに掲示する方向で検討。

決定事項

- 分科会体制の継続（ブラッシュアップ／ガイドス）。
- 37→25 項目案をベースに**救済候補**を合わせて再精査。
- 因子（大分類）名称の再設計**に着手（次回までに案）。
- ガイドス三文書**（実施前・実施後・アクション）のドラフト作成を進める。
- 評価結果の**可視化案（階層別・側面別のグラフ等）**を次回提示。

宿題（担当）

- ブラッシュアップ**：救済候補リストと根拠（統計値＋実務価値）、因子名案。
- ガイドス**：各ガイドのドラフト、可視化（グラフ）案。

事務連絡（閉会時）

- 次回以降の開催（当初案から**日程修正あり**）
 - 第 3 回：2025 年 10 月 1 日（水）**
会場：農林水産省・三番町共用会議所（予定）＋オンライン（詳細は「調整さん」等で別途案内）
 - 第 4 回：2025 年 11 月 5 日（水）**

- **第5回：2025年12月3日（水）**
- **第6回：2026年1月14日（水）**（1月のみ第2水曜）
- 本日の配布資料は**一部非公開情報**を含むため取扱い注意。
- 議事概要は後日、**農林水産省ホームページ**で公開予定。

以上